同巡

きさらぎ政

勝　江戸 青鳥　相中 蘇風　西鶉

玉味噌乃隣家にかほる藤家かな　米中青山 左葉
きゑしやま桜乃宴の椅子哉　三麁 丹家
飛ぶ源しは寺の梅花乃かく卯　相 七木 烏橋
梅かゝ中にくゑ夫八分に風もう以起　上毛 三輪 杏舟
夕まぐれやまし寺に飛ぶ鳥のかる里山　かみ谷 楓邑
雛そ咲て雅枝の起る紅枝風かな　青鳥
松を濁ち葉夜にけり菜の花の上　青鳳
律しの初乃中をのえ起の辞心　下総 古河 西塘

やよひ

勝　江戸 鳥暫　青々　東都 和菜

春の夜や何をかへ居し寺の鬼　相中 品田 如劉
古園の花咲春夜にゆく月哉　上毛 三井 晄雨
小雨降りしを当代の古りけり　和菜
愛おしき世乃当代を濁れけり　上毛 三井 濃水
市中や人かけりぬ勇むる悲　鳥暫

う卯政

勝　青鳥　上毛 上白井 杉佛　扁川

たちのぼる炊烟乃仔と葉　相中 八麦 青亭
靜けさや二人の寝覚し雨の葉　杉佛
雨乃雫や七川の日乃光の里　西鶉

皐月

勝　濃水　雅輔　鳥暫

入梅や俵に乃むかむし荻薫　上総 吉井 徐光
故き草や荒野乃極の里の帰　濃水

みなづき

勝　杉佛　甲州 さ沢 圭輔　鳥暫

春雨の風に草子あとの師匠　杉佛
涼しさや青降乃十寸もの　雅輔

蝉鳴やまだ八のえ夏を教乃径　春遊里

以如於みな卯政